

云、凡學生公私有禮事、令觀儀式、又承和十二年宣旨云、車駕行幸之日、官人引文章生等陪從、然則朝堂之儀、公私之禮、節會宴享之日、巡狩遊獵之時、必須率學生縱觀陪從、而寮本无幕幔、臨事多闕、常成煩礙、諸司之例、申請二條、當寮領四百之生徒、非兩幕之可容、望請四條以爲儲備、太政官處分、依請焉。

〔和漢三才圖會三十二幕略〕中

陣幕軍陣以二張爲陰陽一對、各用布六端、內一端判四、以三分ナヒチミツケリ綯三股左ナハ索黒白爲手繩、其長出於幕

端各三尺也、以一分爲乳、數二十八、表宿星、各長五寸二分、濶一寸二分也、物見穴九、象日月及北斗七星、皆拾大略記之

〔體源抄十八〕一幕布ノ長サ二丈五尺、チノアイ一尺二寸、ナワマゼノナラバチモマゼノ一色也、マクツクシノ長サ一丈五寸、サキ、

〔古今要覽稿器財〕あげはり帷幕帷

陣幕は、二張を陰陽一對、また一雙といひて、二丈八尺の布十二幅武法軍器辨云、十の内、二幅を乳

と手繩の料、内三分を手繩とし、一分を乳とす、乳は延喜式に紐といひ、手繩は綱といふものにて、

手繩の長さ七間半、幕の兩端へ三尺づゝ、いづるやうにすと和漢三才圖會見えたり、乳は黒白青の三色

を用ゆ、また高家は白なり、大江真忠相傳乳付の間一尺二寸、色は手繩ませ色なればませ色、一色なれば

また一色と體源抄あり、其數二十八なるは天の廿八宿に像り、陽とし、三十六なるは地の三十六禽

に像り、陰とすと本朝軍器考いへり、かつはゞの綴目に、物見とて九の穴あるは、北斗七星と日月に像

る和漢三才圖會なり、其表に纈纈をつく、

〔類聚名物考調度五〕まく幕

胤相云、審には難考候、古き繪卷物の中、軍營の中に幕うちたるていなどとも違たるものと存候、大槩二間四方ばかりに柱をたて、桁を加へ、幕をかけ、前後に出入すべき戸を付て、戸にも幕をか